

保育闘争委員会ニュース 公的保育を守り拡充させよう

2017年
10月25日(水)
第148号

発行 = 東京自治労連保育闘争委員会 Tel.03-5940-7951 Fax.03-5940-7957 honbu@tokyo-jichiroren.org

各地の取り組みを紹介します。今回は、墨田の取り組みです。

当局は『「整備計画」の一部見直し』を報告にもかかわらず 『「墨田区保育所等整備計画」の見直しと保育の質の向上を求 める請願署名』を不採択に！

22園ある公立保育園を全て認定こども園に移行し、10園のみ「基幹園」として残し、他は民営化することを盛り込んだ「墨田区保育所等整備計画」の見直しと保育の質の向上を求める請願署名は、住民・保護者の協力で10280筆が寄せられ、9月21日の区議会「地域子ども文教委員会」で審議されました。

区議会の委員会採択に向けた議会会派まわりで、ある区議さんより「この計画は見直す話がある」との情報を得、「採択」への希望を持って傍聴に臨みましたが、結果は「不採択」となりました。

区議会委員会の提案・報告事項にも「計画見直し」が…

「地域子ども文教委員会」の区側の提案・報告事項にも『「墨田区の保育所等整備計画」の見直し』の議題があり、その内容は『私立認可保育所の増設で公立保育園の基幹園化は、効率・効果的でなく、子育て支援部内に集約する。「基幹園」を見直し、認定こども園化は凍結とする。しかし、民間活力導入は予定通り実施する。』というものです。このことは、『「基幹園」の役割は何か、明確にされてない「計画策定」で墨田区のビジョンや見通しのなさが露呈した』といえます。

ところが、整備計画の見直しの内容とほぼ同じに近い請願内容なのに、請願は不採択になりました。なぜ不採択なのか？議会の審議では不明のまま、傍聴席では「なぜ？」と疑問や不満ばかりが残る委員会となりました。

議員からは、「公立保育園が良くて私立保育園が悪いことは全くない」と請願に書かれていない点を取り上げ、趣旨とは違う方向に審議が進んでしまいました。「どこでだれがこの見直しを決めたのか？」という質問にも回答なしのまま、不採択になったことは最後まで納得いきません。

さらに、粘り強く、区民と共に取り組みをすすめます

これまで「より良い保育を@すみだ」を中心に、集会で学習し、パレードや子育てカフェを開くなど、住民や他団体と共に運動進めてきた結果、この整備計画を見直しさせたことは、一定の成果です。

2018年度に認定こども園化の予定だった江東橋保育園とおむらい保育園の認定こども園化は延期になり、基幹園のスタートも「凍結」となりました。これも、私たちの運動の成果ですが、「民間活力導入は予定通り実施する」という点は何ら変わらないため、とても複雑な思いです。喜ぶというより区議会の審議の仕方に疑問を持たざるを得ない結果でもあります。

今後、住民の要求や思いを大きな声にし、区に直接訴えていく機会を作るなど、「より良い保育を@すみだ」の運動をさらに大きくし、改めてこの計画を根本的に見直させていく思いを強くしました。

